様式４

審　議　結　果

会　　議　　名	第２回盛人大学運営委員会
開　催　日　時	平成２９年２月３日（金）　１０時００分から１０時５０分
開　催　場　所	川口市立かわぐち市民パートナーステーション会議室１
出　　席　　者	沢田委員長、阿部副委員長 中村委員、神作委員、仲川委員、小寺委員、前田委員、廣瀬委員 渡部課長、買田課長補佐、菅原主査、作田主任、坂井主事補
議　　題	１　開会 ２　委嘱書交付 ３　議事 （１）協議事項 ア　平成２９年度盛人大学受講料について （２）報告事項 ア　平成２７年度卒業生アンケートについて イ　第４回協働推進委員会について （３）その他 ４　閉会
公開／非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由	―
傍 聴 人 の 数	１名
会　議　資　料	会議次第 資料№１　平成２９年度受講料の算出について 資料№２　盛人大学平成２７年度卒業生アンケート

	資料№.３　盛人大学と市民大学の比較 資料№.４　県内市町村市民大学等開催状況 平成２９年度盛人大学各コース受講料（案）－２
審　議　経　過	別紙のとおり
そ　の　他	－

審　議　経　過

１　開会（１０時００分）

２　委嘱書交付（１０時０１分）

・　沢田委員長から中村委員及び前田委員に委嘱書を交付した。

・　中村委員及び前田委員自己紹介。

・　事務局から出席委員数が委員定数の過半数に達しているため、盛人大学運営委員会設置要綱第６条第２項の規定により本委員会が成立している旨を報告した。

・　会議傍聴希望者が１名いることから、事務局から報告のうえ入室を許可した。

・　事務局から配布資料について説明した。

・　委員長が会議録署名人を選任した。

３　議事

（1）協議事項

ア　平成２９年度盛人大学受講料について

〇委員長

協議事項のア　平成２９年度盛人大学受講料について事務局の説明を求める。

〇事務局

盛人大学各コース受講料は、平成２７年９月３０日開催の盛人大学運営委員会において決定された基本的な考えに基づき、今年度から反映させている。

この基本的な考え方の内容について説明する。各コースの講師料は農業体験コースを除き、年間２０万円を上限とし、１単位、１時間につき１万円である。また、全講師料の８割程度を受講料収入で賄うこととしている。受講料は３段階で設定し、最低受講料設定額は４，５００円である。これは、各コースの受講料収入が講師料の８割程度となるように受講料を設定すると、全９コースあることから、受講料が９段階で設定され、複雑で分か

りづらいことから審議結果により３段階とした。さらに、大幅な値上げにならないよう配慮することとしている。以上を基本的な考えとしている。

平成２８年度の受講料は、この基本的な考え方を基に設定しており、講師料支出額の８１．５％を受講料収入で賄っている。

平成２９年度盛人大学各コース受講料設定についてであるが、２ページの１の表は、各コース実行委員から１月末に提出された平成２９年度の講師料と募集受講者数から、コース単位で受講料収入が講師料の８０％程度となるよう算出したものである。

この数値を基に、先ほど説明した基本的考えを勘案して設定した案が２の案１と３の案２である。両案とも受講料の最低額は平成２７年度と同額の４，５００円、最高額は７，０００円の３段階設定であるところは同じだが、地域デザイン入門と社会起業・ビジネスの２コースの受講料設定が異なっている。

案１では、両コースとも５，０００円に設定しており、平成２８年度と比較すると、地域デザイン入門は１，５００円、２３．１％の減、社会起業・ビジネスは５００円、９．１％の減となっている。案２は、地域デザイン入門は４，５００円、社会起業・ビジネスは６，０００円とするもので、平成２８年度と比較すると、地域デザイン入門は２，０００円、３０．８％の減、社会起業・ビジネスは５００円、９．１％の増となっている。

なお、平成２９年度の農業体験の受講料は７，０００円となっており、平成２８年度の６，５００円から５００円、７．８％増となっており、講師料に占める受講生収入の割合は６１.３％である。また、教材費として８，０００円を受講料とは別に徴収することになっている。

平成２８年度と２９年度の地域デザイン入門、社会起業・ビジネスそれぞれを比較すると、地域デザイン入門は、募集定員は同じ２０人だが、講座内容の見直し等を行い、講師料を１８万円から１２万円に減額している。社会起業・ビジネスは、講師料は同額だが、募集定員を３５人から１０人減の２５人としている。

なお、両案の講師料に占める受講料収入の全体の割合は、案１では８０．７％、案２では

８１．５％となっている。コースごとの割合は、外での講義が多い郷土川口再発見と農業体験コースを除く、主に分室で講座を行う７コースを比較すると、案１では最大は１０１．３％、最小は６２．５％で、３８．８ポイントの差、案２では最大は１０１．３％で、最小は７５．０％、２６．３ポイントの差である。

○委員

受講料の設定については特に質問はないが、資料３を見ると、市民大学は無料だが、盛人大学は有料となっている。市民大学は元から川口市による事業だが、盛人大学はボランティアの方々が始めた事業で、後に市も関わるようになったという経緯があると聞いている。受講料の有無についての違いはあるが、受講生が自分の分を負担するという考え方は問題ないと思う。社会への貢献度を考えると、市民大学はあくまで個人が自分のために受講するものであるが、盛人大学は社会貢献をする人材を育てることを目的に実施している。盛人大学事業に関して行政からもっとフォローがあってもよいのではないかと思う。

○事務局

市が行っている支援を申し上げると、キャンパスとしてかわぐち市民パートナーステーション分室を提供している。また、講義を運営する盛人大学実行委員会に対して、受講料収入と同額程度の補助金を交付しており、今年度は１６０万円を交付している。

○委員長

確認だが、この場で平成２９年度の受講料を決定するということでよいか。

○事務局

４月に募集案内を配布するため、この場で決定していただきたい。ただし、農業体験は２月１日から募集を開始していることから、受講料の変更はできないため、それ以外の８コースについてご審議いただきたい。

○委員

受講料を変更する必要があると事務局は考えているのか。

○事務局

資料のとおり社会教養からカウンセリング入門までは、募集定員、講義回数、講師料はそれぞれほぼ平成２８年度と同等となっている。地域デザイン入門は、講義内容の見直しを行った結果、講師料が大幅に減少している。また、社会起業・ビジネスについては、講師料は２８年度と同額だが、募集定員は１０人減となっている。前年度の運営委員会で、各コースの負担の割合ができる限り公平となるように、提出していただいたカリキュラムの内容に応じて、受講料の見直しをすると決定されているため、案を提示させていただいている。

○委員

２つの案の相違点は、地域デザイン入門及び社会起業・ビジネスの受講料である。社会起業・ビジネスはビジネスという名前がつくことから、受講料が高めになってもよいのではないだろうか。

○委員

既に決定している農業体験を除けば、案２では社会起業・ビジネスのみ増額となり、その他のコースは増額か同額となるが、案１では農業以外体験以外の全てのコースが減額か同額となる。案１のほうがよいのではないだろうか。

○委員

地域デザイン入門及び社会起業・ビジネスの受講料を共に５，５００円にした場合、案１及び案２の収納受講料や負担の割合等と比べて大きな差は出るのだろうか

○事務局

速やかに資料を作成するので、時間を頂きたい。

○委員長

暫時休憩とする。

（暫時休憩）

○委員長

再開する。

事務局に作成した資料（平成２９年度盛人大学各コース受講料（案）－２）の配布と説明を求める。

○事務局

案１は、地域デザイン入門、社会起業・ビジネスの受講料を共に５，５００円に設定した場合、講師料に対する受講料収入の割合は、地域デザイン入門が９１．７％、社会起業・ビジネスが６８．８％になり、全体では８１．９％となる。案２は、社会起業・ビジネスは５，５００円のままで、地域デザイン入門を４，５００円に設定した場合である。地域デザイン入門の講師料に対する受講料収入の占める割合は７５．０％、全体では８０．９％である。

両案とも、地域デザイン入門の受講料は減額となり、社会起業・ビジネスの受講料は今年度と同額となる。

○委員

今配布された資料の案２でよいのではないだろうか。

○委員

案１は、講師料の負担割合に多少のバラつきはあるが、全体では８割を超えており、受講料自体も受講生に過度な負担となるものでもない。農業体験コースのみ増額となるが、バランスよく３段階に分かれており、市民の方にも分かりやすいと思う。案１でよいのではないだろうか。

○委員長

この意見に対して、事務局はどう考えているか。

○事務局

全体の講師料に対する受講料収入の割合は８１．９％と８０．９％であるため、どちらも適正であると考えている。委員の皆様で意見を集約し、決定していただきたい。

○委員長

他に何か意見はあるか。

○委員

今年度の受講料は事務局が設定したのか。

○事務局

今年度の受講料の決定までの経過を申し上げると、まず、各コースが年間講師料の８割を受講料収入で賄うことになるように、事務局でコースごとに受講料を設定した案を昨年度の運営委員会に提示し、ご審議いただいた。その審議において、この設定方法では募集定員及び年間講師料がコースごとに違うため、受講料がバラバラになってしまい、分かりづらいというご意見が出た。そこで、受講料は三段階で設定する等の基本的な考えを決定し、金額については委員長にご一任いただいた。

○委員長

では、お諮りする。まず、平成２９年度盛人大学各コース受講料（案）－２の案１にすることで異議のある委員はいるか。

（「異議なし」との声あり）

○委員長

異議なしとのことであるので、平成２９年度の受講料は、平成２９年度盛人大学各コース受講料（案）－２の案１のとおりでよいか。

○委員

よい。

○委員長

では、事務局は、平成２９年度の受講料を平成２９年度盛人大学各コース受講料（案）－２の案１のとおりとするように。

○事務局

了解した。

（２）報告事項

ア　平成２７年度卒業生アンケートについて

〇委員長

報告事項のア　平成２７年度卒業生アンケートについて事務局の説明を求める。

〇事務局

資料２は、平成２７年度の盛人大学卒業生を対象に、１月に実施した社会貢献活動への参加状況に関するアンケートである。

盛人大学と類似する事業として市民大学がある。市民大学は市民の学習要求に応えることで、生きがいづくりや自己実現を達成し、市民が充実した人生を送ることができるようにするという目的で実施している。一方、盛人大学は、盛人世代を対象とした事業であり、これまでの人生で培った知識や経験、技能を活かして、自主的に社会貢献活動を行う人を輩出するため、交流と社会参加の機会を提供することを目的に実施している。

このアンケートは、盛人大学事業がその目的を達成しているかどうかを測定するために、初めて実施したものである。

まず、調査票であるが、このアンケートは無記名での回答となっている。設問１では受講したコースを、設問２では現在社会貢献活動を行っているかどうかを問うている。設問３以降については、設問２で、「行っている」と回答した方だけ回答していただいている。

次に結果であるが、平成２７年度の卒業生は２６６名で、このうち１７９人から回答があり、回収率は６７．３％である。

卒業から本調査票を配布した１月までの１０ヵ月以内に社会貢献活動を行っている方は、設問２のとおり１１２人で６２．６％、行う予定と合わせると１３６人、７６．０％となっている。設問３以降は、設問２で「行なっている」と回答した方のみ回答していただいたものである。盛人大学入学前から社会貢献活動を行っていた受講生が、在学中または卒業後に別の社会貢献活動を始めている場合もあるため、複数回答となっており、合計が１００％を超えているものもあり、ご覧のとおりとなっている。

今後も、継続して同様の調査を卒業生に行うことで、盛人大学の社会的な効果、必要性を主張する資料にしたいと考えている。

〇委員長

今の説明に対して、質問や意見はあるか。

〇委員

設問４の選択肢を見ると、その他については記入方式となっている。その他を選択した方からは、どのような回答があったか。

〇事務局

市内のボランティアや市民活動の取材及び放映、集団菜園での収穫物を子ども食堂への寄付、盛人大学のスタッフ、マンションの防火管理の責任者、コーラスグループに入り病院のボランティアとして活動、グランドゴルフの世話役などである。

〇委員

集計結果で２点気になったことがある。１点目は、社会起業・ビジネスの回収率が低いこと。２点目は、盛人大学事業は、卒業後に社会貢献活動を自主的に行う人を輩出することを目的に実施しているが、農業体験は設問２で「行う予定はない」と回答した割合が高い。この結果について事務局はどう考えているか。

〇事務局

社会起業・ビジネスについては、コースのテーマが募集案内にあるとおり、起業とは夢の実現の第一歩とあるとおり、起業をメインにしている。また、全日程を出席して卒業を目指す方だけでなく、特定の講座を目当てに申し込みをされる方もおり、卒業率も低くなっている。そのため、アンケートの回収率も低くなったのではないかと考えている。

農業体験コースについては、都市農業の困難さがあり、事務局から学んだことを活かせる活動場所を提供することが難しい状況である。卒業後は、地域の学校の農園のお手伝いをしている方が多いとは聞いているが、毎年４０名近く卒業生を輩出しているため、受け入れ数にも限界がある。また、設問２では農業関連の社会貢献活動のみに限定して、社会

貢献活動を行っているかどうかと考え回答された方もいたのではないかと考えている。以上のことから、行う予定はないと回答した割合が高くなったのではないかと考えている。

イ　第４回協働推進委員会について

〇委員長

報告事項のイ　第４回協働推進委員会について事務局の説明を求める。

〇事務局

１１月９日に開催した運営委員会で説明させていただいたとおり、現在、川口市協働推進委員会に盛人大学学旨の改正について市長が諮問を行い、ご審議いただいている。

現在の審議状況を申し上げると、１月２４日に第４回委員会が開催され、盛人大学実行委員会の仲川実行委員長をお招きし、盛人大学の立ち上げから現在に至るまでの経緯をお話していただくとともに、質疑応答、意見交換を行ったところである。次回の開催日程は未定だが、今後はこれまでの審議を踏まえ、各委員が学旨の案を提出し、現行の学旨を含めて新しい学旨について議論を行う見込みとなっている。

また、資料３は、第３回協働推進委員会で、盛人大学と市民大学を比較した資料の提出を求められたことから、第４回委員会に提出したものである。参考にしていただきたい。

資料４は、前回の運営委員会で、埼玉県内市町村の市民大学等の開催状況について調査し、結果を報告するよう依頼があったことから、事務局で県内市町村にアンケートを送付し、本委員会までに回答があった自治体分について、まとめたものである。

〇委員

協働推進委員会では、仲川実行委員長に盛人大学について説明していただいたうえで、最終的には学旨を変更するかどうかだけでなく、新しい学旨の案も提示していただくという理解でよいか。

〇事務局

学旨の改正についてという諮問が出ている。委員から、現在の学旨もよいが、入学後に社会貢献活動をしていただきたいという盛人大学の目的が、市民にもっと分かりやすく広

く伝わるような学旨にしたらどうかという意見が出ている。

第４回委員会の議事録を送付後に一定の期間を設けて、各委員から一人２案まで学旨の案を提出していただくことになっている。委員は１５名いることから、現行の学旨も含め最大で３１案となる。次回委員会では、これらの案をもとに審議することとなる

ご説明していただいた委員から補足等あれば、お願いしたい。

○委員

委員会で説明したが、学旨を見て盛人大学の主旨である社会貢献やボランティア等をイメージできるような文言に改変していただけるのではないかと考えている。

（３）その他

○委員長

その他について、事務局から何かあるか。

○事務局

今年度の盛人大学運営委員会は、今回が最後の会議である。次回は平成２９年度になるが、日程は決まり次第お伝えする。

また、前回の運営委員会で、盛人大学のＰＲの一環として、募集案内に盛人大学を卒業して私はこのような社会貢献活動を行っているという卒業生の声を入れてはどうかとのご意見をいただいたが、平成２９年度の募集案内から採用させていただくこととした。現在、作成中であるが、男女１名ずつ写真付きで卒業生の声として掲載する予定である。

○委員長

委員からは何かあるか。

（「なし」との声あり）

○委員長

なしとのことなので、これで議長の任を降り、進行を事務局に戻す。

○事務局

これもって、第２回盛人大学運営委員会を終了する。

（4）閉会（１０時５０分）

会議の内容については、以上のとおりです。

平成２９年２月２４日

盛人大学運営委員会委員長　　（沢田委員長署名）

盛人大学運営委員会委員　　（中村委員署名）